

効果の高いがん検診の方法が研究されています。

がん検診の有効性の評価

	◎ 効果あり	○ 効果あり	× 効果なし
胃がん		胃X線検査	ヘリコバクタ・ピロリ抗体測定
大腸がん	便潜血検査		
肺がん		胸部X線+喀痰細胞診*	
乳がん	50歳以上に対する視触診+マンモグラフィ	40歳代に対する視触診+マンモグラフィ	視触診単独
子宮頸がん	頸部擦過細胞診		
肝がん		肝炎ウイルス検査	

◎検診による死亡率減少効果があるとする、十分な根拠がある

○検診による死亡率減少効果があるとする、相応の根拠がある

×検診による死亡率減少効果がないとする、相応の根拠がある

※喀痰細胞診は高危険度群にのみ実施

*最近では、肺がん検診でのヘリカルCT検診や胃がん検診における血清ペプシノゲン法の有効性について調査が行われています。

資料：新たながん検診手法の有効性の評価報告書（（財）日本公衆衛生協会、2001年）

がん検診を受けに行こう!



市町村によるがん検診

市町村が主体となって行なうがん検診には、胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・乳がん検診・子宮がん検診の5種類があります。がん検診の方法や料金は、各市町村により異なります。お住まいの市町村広報誌、ホームページをご覧ください。

その他のがん検診

お勤めの方は、労働安全衛生法に基づき、雇用主の責任で健診（血圧、検尿、心電図、胸部X線撮影、血液検査等）が行なわれます。また、多くの職場では胃がん検診などのがん検診も実施されています。詳しくは、勤務先におたずねください。

他に、個人で検診実施機関や医療機関で検診を受ける、人間ドックを利用するなどの方法もあります。

参考ホームページ

- 厚生労働省統計表データベース (<http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/index.html>)
- 大阪府立成人病センター調査部ホームページ (<http://www.mc.pref.osaka.jp/ocr/>)

がん予防キャンペーン大阪実行委員会

(社)大阪府医師会
大阪府
大阪市
(財)大阪対ガン協会

(財)結核予防会大阪府支部
(財)大阪公衆衛生協会
(社)大阪エイフボランティアネットワーク
大阪府地域婦人団体協議会

大阪市地域女性団体協議会
(社)大阪府公衆衛生協力会
(財)大阪成人病予防協会
(財)大阪がん予防検診センター

事務局

〒536-8588 大阪市城東区森ノ宮1-6-107 (財)大阪がん予防検診センター内
TEL:06-6969-6711 (代表) FAX:06-6969-6720

URL <http://www.gan-osaka.or.jp>